

科目番号	59003	分類	専門科目 成育看護学	履修者	看護学研究科博士課程	学年			
科目名	生殖看護学 (Reproductive Health and Nursing Science)					1			
						配当セスター			
						通年			
担当者	○橋本美幸・朝澤恭子			区分	選択	単位	2	時間数	30
授業の概要および目標						学位授与の方針との関連			
<p>【概要】 女性の生涯の健康（性と生殖の側面から）を視野に入れ、女性のライフステージにおける健康課題（健康阻害因子）を分析し、看護職としてのその解決策モデルを追及できるスキルを学ぶ。</p> <p>【目標】、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人間の性と生殖の健康に関する科学的知見の現状を理解する。 2. 女性の生涯の健康に関する今日的課題を把握する。 3. 女性のライフサイクルの変化に対応した支援に関する具体的アプローチを習得する。 						○	1. 看護学の継承・発展を担うための研究能力		
						○	2. 人間の発達段階に応じた看護学に関する研究能力		
						○	3. 地域社会の保健ニーズに即した実践的研究教育能力		
						○	4. 臨床現場で「つかえる」エビデンスを「つくり」「つたえる」ことができる能力		
						○	5. 臨床現場との連携を図りながら看護基礎教育を担う事ができる能力		
						○	6. 実践を行なながら学部学生の臨地実習を指導できる能力		
授 業 計 画									
回	内 容						担当教員		
第1回	セクシュアリティ（人間の性とは）						朝澤		
第2回	女性のライフサイクルから見た健康問題の現状と評価						朝澤		
第3回	母子保健と地域支援システム						橋本		
第4～15回	<p>論文抄読会</p> <p>① 文献抄読</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 周産期（妊娠・分娩・産褥・育児期） ・ ウィメンズヘルス ・ 母子保健・助産管理 <p>に関する文献</p> <p>② 15分レクチャー</p> <p>特定の課題について15分間でプレゼンテーションし、ディスカッションを行う</p>						橋本 朝澤		
事前・事後学習	<p>事前学習として、母子保健（助産）の実態、日本の行政施策等について理解しておく。</p> <p>事後学習として、母子保健（助産）に関する自らの考え方を明確にし、看護職としての役割を考慮し、これを実践できるように努める。</p> <p>単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に組み込むこと。</p>								
評価の方法	抄読会への出席状況および文献抄読および15分レクチャーの内容・プレゼンテーションにより評価する。 フィードバックは適宜行う。								
参考図書 ・ 資料等	<p>・ 必要時資料配布</p> <p>○は授業の必携図書ですので、購入していただきます。</p>								
備 考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。								